

同時発表：  
筑波研究学園都市記者会（資料配布）  
文部科学記者会（資料配布）  
科学記者会（資料配布）



## 第1回ナノ材料科学環境拠点シンポジウムの開催について

平成22年2月5日

独立行政法人物質・材料研究機構

### 概要

独立行政法人物質・材料研究機構（理事長：潮田 資勝）のナノ材料科学環境拠点（拠点長：潮田 資勝、拠点マネージャー：大野 隆央）は、第1回ナノ材料科学環境拠点シンポジウムを開催いたしますのでお知らせいたします。

ナノ材料科学環境拠点は、平成21年度文部科学省の公募プログラム「ナノテクノロジーを活用した環境技術開発プログラム」において唯一採択された物質・材料研究機構を中核機関とする研究構想を実現するための研究拠点であり、産学独が連携して国内外の一流研究者を集結し、環境エネルギー技術の基礎基盤的な研究開発を推進するため、平成21年10月23日に活動を開始しました。

太陽光から出発するエネルギーフローに関わる太陽電池、光触媒、二次電池、燃料電池をターゲットに据え、表面・界面の理論解析と先端的計測技術を融合させることで、環境エネルギー問題を解決するための新しい材料の創出を目指しています。

この度、本拠点の研究概要紹介等を行い、広い分野に渡る研究者の交流と産学独の連携促進を目的として、第1回ナノ材料科学環境拠点シンポジウムを開催いたします。本シンポジウムでは、スイス連邦素材研究所(EMPA)の前CEOで、本拠点の副拠点長に就任予定の Louis Schlapbach 教授の基調講演に続き、本拠点のターゲットである太陽電池、光触媒、二次電池、燃料電池の4テーマおよび理論・計算科学と先端解析を合わせた6つのテーマについて、講演を行います。

開催日時：2010年2月9日（火）9：20～17：25

場 所：(独) 物質・材料研究機構千現地区第一会議室（茨城県つくば市）

使用言語：英語

参加費：無料

問い合わせ先：

〒305-0047 茨城県つくば市千現1-2-1  
独立行政法人物質・材料研究機構  
広報室 TEL:029-859-2026

シンポジウムに関すること：

〒305-0047 茨城県つくば市千現1-2-1  
独立行政法人物質・材料研究機構  
ナノ材料科学環境拠点 運営総括室長  
西村 睦 (にしむら ちかし)  
TEL:029-859-2652  
E-mail NISHIMURA.Chikashi@nims.go.jp

---

第1回ナノ材料科学環境拠点シンポジウムプログラム

9:20-9:25 開会の挨拶 潮田 資勝 ナノ材料科学環境拠点長

9:25-9:30 来賓挨拶 文部科学省

9:30-10:05 基調講演「新材料によるエネルギー環境技術改善のチャンスとリスク」  
Prof. Louis Schlapbach (前スイス連邦素材研究所 CEO)

10:05-10:45 計算科学セッション  
「エネルギー環境材料研究のための計算材料科学」  
大野隆央 ナノ材料科学環境拠点マネージャー  
「電極動力学の第一原理計算」  
杉野 修 東京大学

コーヒーブレイク

11:00-12:00 ナノ界面解析セッション  
「エネルギー環境材料研究のための表面界面解析」  
藤田大介 ナノ材料科学環境拠点計測グループリーダー  
「固液界面におけるその場実時間モニタリングと電子移動動力学」  
魚崎浩平 北海道大学

昼食休憩

13:00-14:00 二次電池材料セッション

「界面のイオン伝導と全固体二次電池の性能」

高田和典 ナノ材料科学環境拠点二次電池グループリーダー  
大西 剛 ナノ材料科学環境拠点二次電池グループ

14:00-15:00 燃料電池材料セッション

「その場解析とシミュレーションの融合による燃料電池材料の設計」

森 利之 ナノ材料科学環境拠点燃料電池グループリーダー  
丹治敬義 名古屋大学  
増田卓也 北海道大学

コーヒーブレイク

15:20-16:20 太陽電池材料セッション

「色素増感型太陽電池の固液界面」

佐藤宗英 ナノ材料科学環境拠点太陽電池グループ

「金属複合物をベースとする色素増感型太陽電池用高効率感光剤」

Ashraful Islam ナノ材料科学環境拠点太陽電池グループ

16:20-17:20 光触媒材料セッション

「人工光合成システムの確立に向けて」

葉 金花 ナノ材料科学環境拠点光触媒グループリーダー

「光合成水酸化の分子メカニズム」

野口 巧 筑波大学

「CO<sub>2</sub>還元のための高効率光触媒の開発」

石谷 治 東京工業大学